

令和 8 年 8 月 袖ヶ浦市定例記者会見

日時 令和 8 年 8 月 6 日（木）
午前 1 0 時 0 0 分から
場所 北庁舎 2 階 政策会議室

《発表事項》

～自動運転レベル 4 の実現に向けて～

1

自動運転にかかる事業が国及び県の補助事業
に採択されました

【政策秘書課】

(P. 1)

～あなたの新年の抱負を教えてください！～

2

広報そでがうら 1 月号特別企画
みんなの抱負で新しい年を盛り上げよう！

【シティプロモーション
推進課】

(P. 5)

～ゲームで楽しく介護予防～

3

シニア e スポーツ体験会を開催しています

【高齢者支援課】

(P. 7)

《資料提供》

1

～『サクッと楽窓 そでがうら』よりよい窓口業務を目指して～
窓口体験調査を実施します

【DX推進課】

(P. 9)

1

～自動運転レベル4の実現に向けて～

自動運転にかかる事業が国及び県の補助事業に採択されました

市では、自動運転技術の活用により、運転手不足等の社会課題へ対応し、持続可能な公共交通ネットワークの構築と地域の魅力向上による「安心して暮らせるまち」の実現に向け、自動運転レベル4の運行を目指した取組を推進しております。

このたび、以下の事業が国土交通省及び千葉県の補助事業に採択されたのでお知らせします。

1 事業名

袖ヶ浦市自動運転社会実装推進事業

2 事業費

166,485,000円

3 令和8年度に活用する補助金

補助金交付者	補助事業名称	交付決定額
国土交通省	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (自動運転社会実装推進事業)	131,831,160円
千葉県	地域公共交通「リ・デザイン」 推進事業補助金(交通DX事業)	10,000,000円
合計		141,831,160円

※内閣府からも、自動運転をはじめとする未来技術の社会実装に向けた地方公共団体の取組に対し、関係府省庁による総合的な支援が受けられる「未来技術社会実装推進事業」に採択されました。



4 令和8年度の事業概要

(1) 実施内容

- ・ 運行車両の調達
 - ・ 自動運転レベル2の無償運行
- ※レベル2：運転の主体が人で、システムが運転を支援
- ※レベル4：運転の主体がシステムで、特定条件下で人の操作が不要

(2) 運行ルート

袖ヶ浦バスターミナル～袖ヶ浦駅北口間

※既存の路線バス「のぞみ野・平岡線」の一部



(3) 運行期間

項 目	運行期間	日 数
準備運行	令和8年 9月1日～令和8年11月30日	59日
一般運行	令和8年12月1日～令和9年 2月26日	82日
合 計		141日

※準備運行は土日祝除く

※一般運行は年末年始（12/29～1/3を除く）



(4) 運行車両

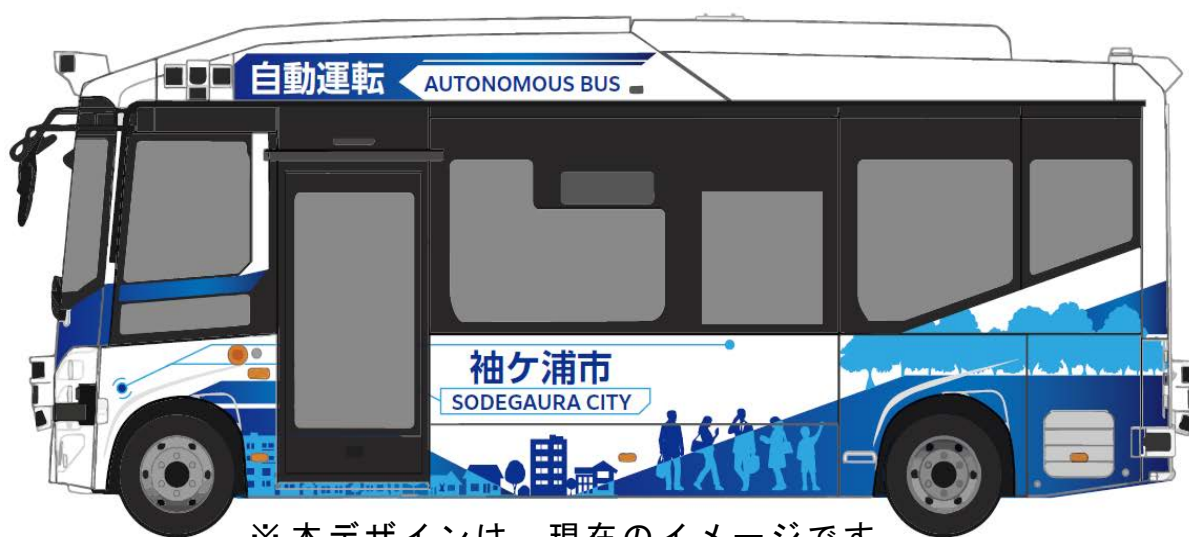
項 目	内 容
車両名	M i n i b u s 2 . 2
車両メーカー	株式会社ティアフォー ※ベース車両はBYD社製
自動運転システム	株式会社ティアフォー
乗車定員（自動運転時）	16名
最高速度（自動運転時）	40km/h
台 数	1台
運行事業者	日東交通株式会社



※株式会社ティアフォーHPより（画像はM i n i b u s 2 . 0）



(5) ラッピングデザイン



5 説明会の開催

(1) 内容

自動運転にかかる事業内容等について説明会を開催し、事業の機運醸成と自動運転に対する理解の促進を図ります。

(2) 日時

日 程	定員	会場
令和8年8月21日（金）午前10時	30名 （先着順）	市役所南庁舎2階 そでふれば （市民協働会議室）
令和8年8月23日（日）午前10時	30名 （先着順）	

(3) 対象者

市民や事業者等の利害関係者

(4) 申込方法

申込フォーム（<https://logoform.jp/form/tSXa/1645661>）

(5) 申込期限

当日開催時間まで



二次元コード

6 問合せ

企画政策部政策秘書課 担当：戸田 電話：0438(62)2435



2

～あなたの新年の抱負を教えてください！～

広報そでがうら 1月号特別企画

みんなの抱負で新しい年を盛り上げよう！

広報そでがうら令和9年1月号では、市民の皆さんが目標を持って新年を健やかに過ごしていただけるよう、2027年に年男・年女を迎える未（ひつじ）年生まれの方々に、新年の抱負を発表していただく特集記事を掲載します。

「2027年はこれを頑張る！」「こんな一年にしたい！」など、新年の抱負を広報紙で宣言してくださる未年生まれの方を募集します。

1 対象

市内在住の未年生まれで、撮影日時に来庁できる方

2 参加費

無料

3 定員

15名程度

※申込多数の場合は、年齢・住所などを考慮し選考します。

4 申込方法

申込フォーム、電話でお申し込みください。

申込フォーム二次元コード

申込 URL

<https://logoform.jp/form/tSXa/1696086>

**5 申込期限**

令和8年9月30日（水）

6 新年の抱負の撮影**（1）日時**

令和8年11月27日（金）・28日（土）9時～16時30分

（2）所要時間

1人20分程度



(3) 場所

市役所 南庁舎 2階そでふれば (市民協働会議室)

7 昨年度の掲載内容



8 担当者コメント

昨年度、初の試みとして、年男・年女特集を実施しました。幅広い世代の皆さまにご協力いただき、新年号の広報を彩る素敵な特集となりました。また、小学校によっては応募者が多数となり、代表児童を選出した学校もあるなど、多くの反響をいただきました。

今年度も、ご家族やご友人、職場の同僚の皆さまをお誘い合わせのうえ、ぜひお申込みください。多くのご応募をお待ちしています。

(企画政策部シティプロモーション推進課 副主査 川俣 雄平)

9 問合せ先

企画政策部シティプロモーション推進

課担当：川俣 電話：0438(62)2465



3

～ゲームで楽しく介護予防～
シニア e スポーツ体験会を開催しています

市では、高齢者に向けた介護予防の新たな取組として、今年度「シニア e スポーツ体験会」を開催しています。eスポーツとは、コンピューターやテレビゲームを使用した対戦をスポーツ競技として行うものです。

今年度は市内交流センター5館において行う高齢者学級との共催により「シニア e スポーツ体験会」を開催し、高齢者の皆さんがいつまでも元気で心豊かに生活をおくることができるように支援しています。

1 開催日程等

日程	時間	会場	募集人数	備考
7月10日 (金)	10時00分から 11時30分	根形交流センター	32人 (参加者)	開催済
8月21日 (金)	9時30分から 11時00分	長浦交流センター 2階研修室	5名	
8月27日 (木)	10時00分から 11時30分	平川交流センター 2階視聴覚室	20名	
9月4日 (金)	10時00分から 11時30分	平岡交流センター 2階視聴覚室	20名	市長参加 予定
9月25日 (金)	10時00分から 11時30分	市民会館 (昭和交流センター) 3階中ホール	10名	

※募集人数については、各交流センターの高齢者学級の参加者に応じて変動するため、一定とはなっていません。

2 講師

株式会社プレイケア 代表取締役 川崎 陽一 氏



3 内容

なじみの音楽に合わせて、画面をみながらリズムに合わせてバチで太鼓を叩き、タイミングよく叩くことができた点数を競います。ゲームを見ている方は、同じ画面をみながら、曲に合わせてメガホンを叩いたり、腕を前に出したりと一緒にゲーム感覚で参加することができ、eスポーツ初心者の方でも気軽に楽しく体験をすることができます。

4 参加費

無料

5 申込方法

電話

6 根形交流センターの参加者の声

「とても楽しかった。他の方にも広めたい。」「次も参加したい。」といった声をいただいております。

7 問合せ先

福祉部高齢者支援課 担当：三沢・高野 電話：0438(62)3225



【情報提供済】 【資料提供】

1

～『サクッと楽窓 そでがうら』よりよい窓口業務を目指して～ 窓口体験調査を実施します

袖ヶ浦市では、『サクッと楽窓 そでがうら』をコンセプトに、ライフイベント（転入や転出等）に関係する窓口業務の改善に取り組んでいます。

このたび改善の一環として、市職員が来庁者（市民）に扮して窓口手続を体験する「窓口体験調査」を市原市、野田市、千葉県職員にも参加いただき、実施します。

1 実施概要

（１）開催日時

令和8年8月6日（木）

午前8時45分から正午頃まで

※終了時間は前後する可能性があります。

（２）場所

袖ヶ浦市役所 1階各窓口等

（３）参加者（予定）

袖ヶ浦市窓口改善プロジェクトチームメンバー（15名）

市原市職員・野田市職員・千葉県職員 他

（４）体験手続

転入（3チームで実施）

（５）その他

- ・3チームに分かれ、午前8時45分頃から順次体験を実施します。
（30分おきに出発予定）
- ・各チーム開始から1時間30分から2時間程度で体験が終了する見込みです。

2 参考

（１）窓口体験調査

職員が来庁者（市民）に扮して窓口での手続きを体験することで、



手続きに要する時間や繰り返し記入している項目（氏名や住所）の数などを数値化するほか、市民目線で手続きを体験することでより実態に即した課題等を見つけ出すことができる調査手法です。

（２）他自治体等の参加について

現在、国では「自治体フロントヤード改革」として、窓口業務の改善等を推進しており、県内でも取り組む自治体が増えています。

自市職員が行うと、市役所内のどこで手続きできるか、どのルートを通ればいいのかなどが自然にわかってしまいましたが、他自治体の職員に「来庁者」（市民役）になってもらうことで窓口体験調査の効果を高めることが期待できます。

今回、同じく自治体フロントヤード改革に取り組んでいる、市原市、野田市、また、支援を行っている千葉県に協力いただき、窓口体験調査を行います。

4 問合せ先

企画政策部DX推進課 担当：小林 源内
電話 0438(62)2137

